

戦争体験の作品は世代を継ぎ、現代の闇をも照らす

沖縄発のエンタテインメント小説、池上永一を相上に(「コールサック」)

越田秀男

「雷に埋もれた家」(花鳥真樹子／季刊遠近74号)――母は「く」なる前、これまで秘匿していた事件を語りはじめた――終戦の年の秋、母が病で逝く。父は出征のまま、母方の伯母に弟とともに引き取られた。事件とは、肺炎で死んだ弟の骨を片付けてしまおうとした伯母を階段から突き落とし死亡させたもの。敵役の伯母の理不尽な行為に及んだ背景も、なるほどと思えるよう描き、時代を語る作品に仕上げていく。